

高校生の大学選択と志向に関する考察

早稲田大学 大学総合研究センター 姉川 恭子
(anegawa.kyoko@gmail.com)

背景・本研究の目的

- Waseda Vision 150
女子学生(学部・大学院)
18,800人 → 25,000人 / 50,000人 (50%)
- 女子学生増加のための効果的な施策とは...?

調査の概要

実施期間: 2016年8月6、7日
(オープンキャンパスの2日間)
実施場所: 早稲田キャンパス
有効回答数: 男74名、女103名
設問内容(一部抜粋)
重視すること(1. 重視しない-5. 重視する)
大学の雰囲気(1. 良くなかった-5. 良かった)

分析結果

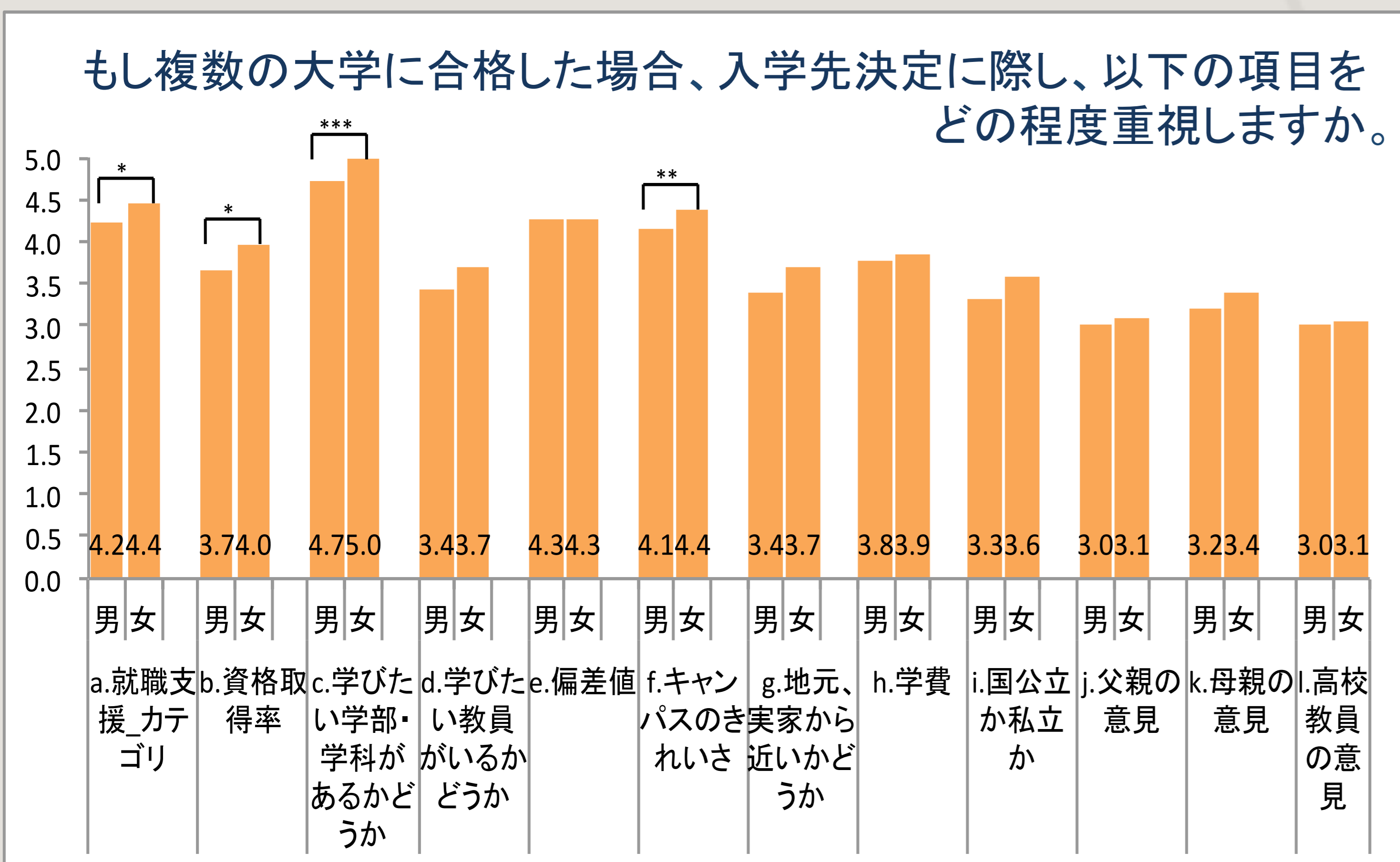


図1. t検定の結果: 入学先決定時に重視すること

- 女子は男子に比べ、キャンパスのきれいさなどの「雰囲気」を重視
- 就職支援や資格取得などの卒業後の進路を踏まえて、大学選択を行う傾向

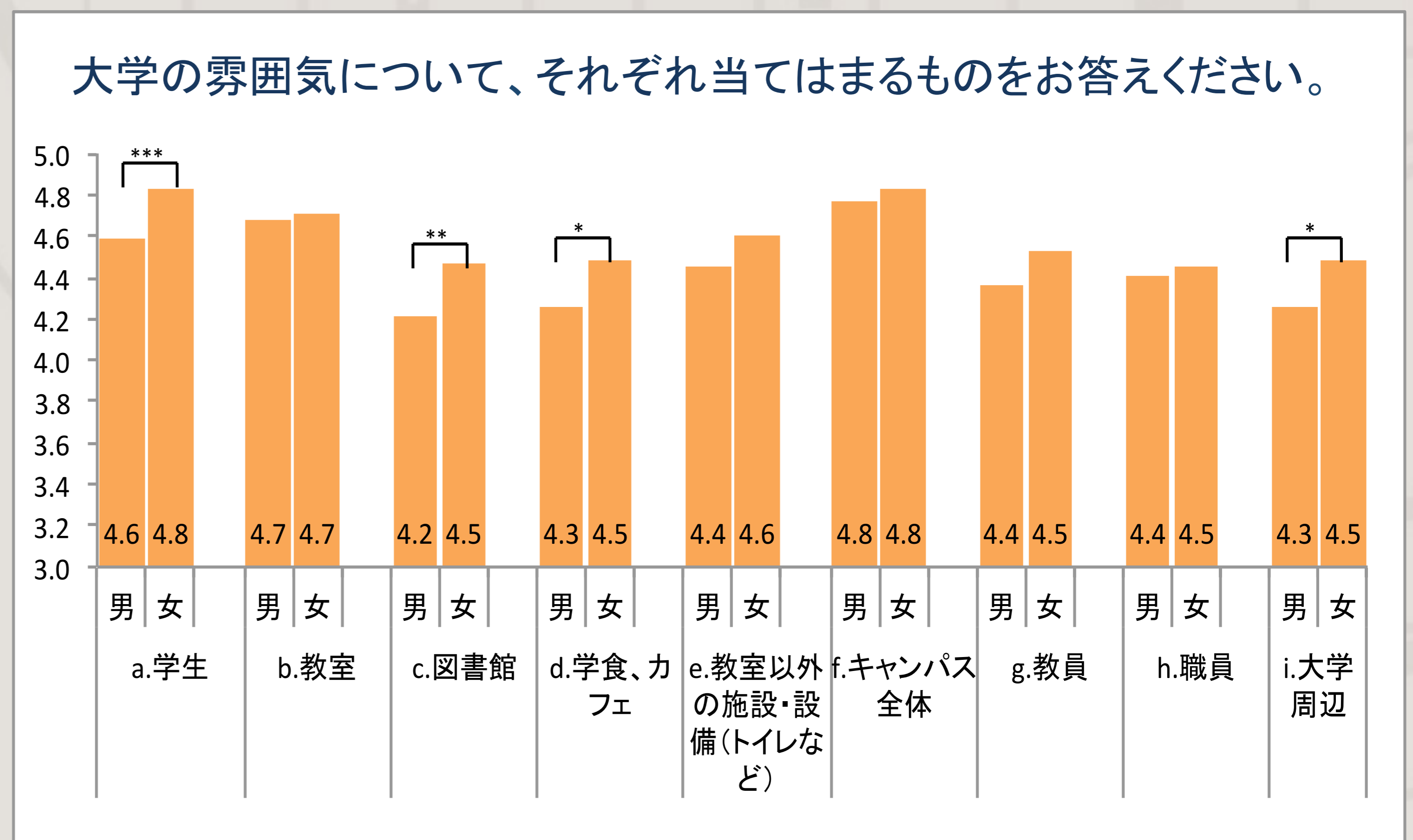


図2. t検定の結果: 大学の雰囲気についての意見

- 図書館や学食、大学周辺の項目で女子の方が高い評価
- 大学生活を構成する様々な要素を見て、大学を評価している可能性

今後の課題と展望

- オープンキャンパス時の調査について入学センターと協働実施を検討
- 地方でのオープンキャンパスや、その他の来学者(高校生)向けアンケートの実施検討
- 本学に対しての要望や否定的な意見等を踏まえ、女子学生増加のための施策について引き続き議論
- EMIRの観点から、入学者の追跡調査検討

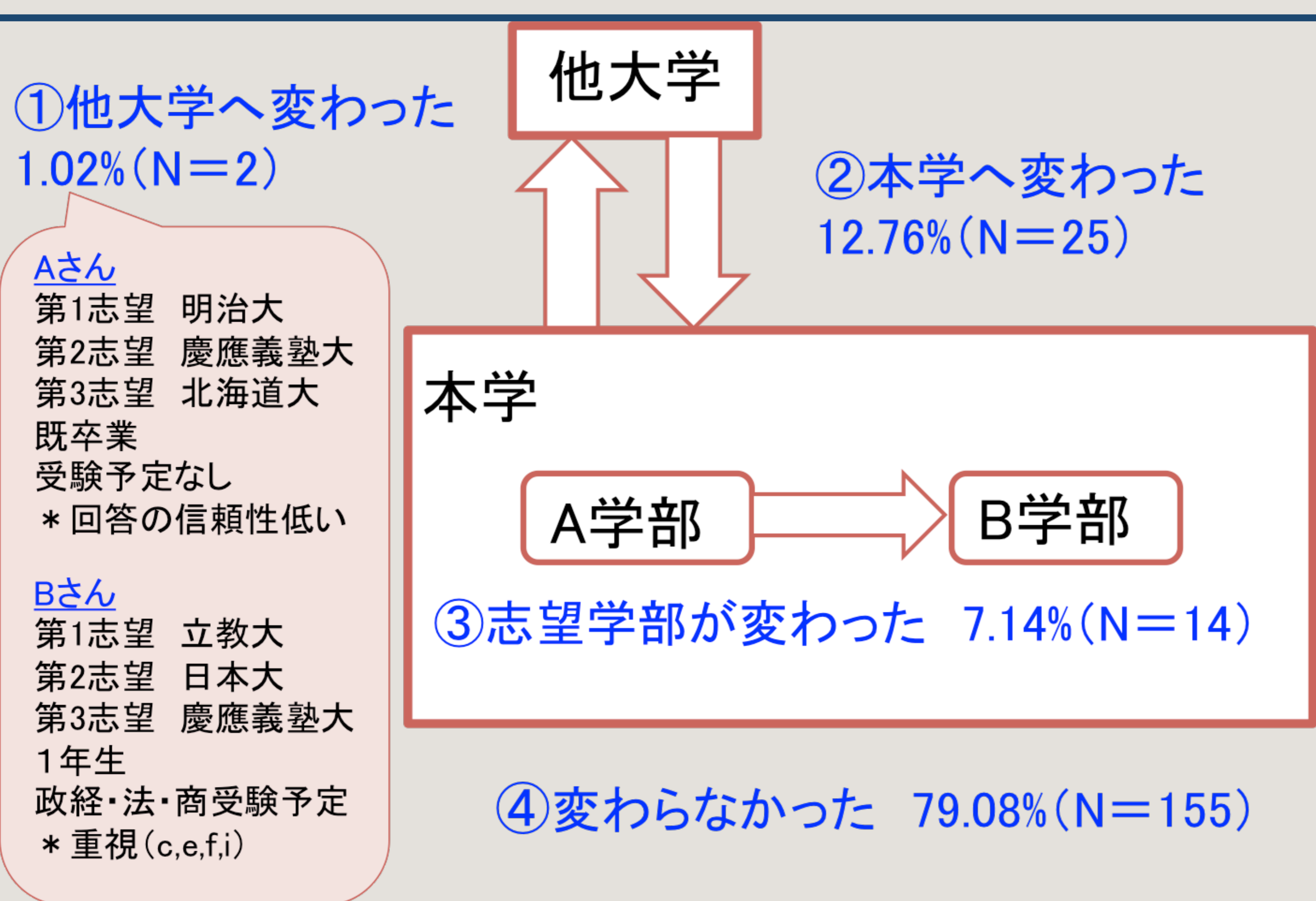


図3. オープンキャンパス参加後の志望の変化

